

## 取組：教員の英語力、指導力の向上と校種間連携の推進

### 当該地域の特性等を踏まえた課題分析の視点

求められる英語力を有する担当教員の割合、求められる英語力を有する生徒の割合ともに全国平均を下回っている。また、小中連携を行っている割合も全国平均を下回っている。さらに、中学校における「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標の設定・公表及び達成状況の把握等を行っている中学校の割合が非常に低い。多忙感から教員が授業改善など課題に対して十分に取り組むことができていない状況が考えられる。

### Plan

#### ■取組計画

- ・英語指導パワーアップ講座（教員の英語力、指導力向上研修）の実施
- ・小中連携を推進するための指定校区（研修協力校）の指定
- ・英語専科教員の指導力向上

#### ■体制

- ・外部専門機関（奈良教育大学）との連携
- ・県立教育研究所との連携
- ・「奈良県英語教育改善連携専門部会」  
教員の資質向上や英語教育改善・充実のために設置

### Do

#### ■英語指導パワーアップ講座（小、中、高）

[小・中]年間5回（オンラインでの実施を含む）の全体の研修計画を基に、各参加者が自主研修計画（個人の目標と行動指標・成果指標の設定含む）を作成し、英語力、指導力の向上を目指す。今年度は「指導と評価の一体化」を講座を貫くテーマに設定し、大学教員、県教育委員会指導主事による講義・演習や、参加者が授業（録画）を公開し、大学教員及び県教育委員会指導主事による指導・助言と研究協議を行った。また、第1回の講座においては、小・中合同で実施し、グループ協議を行うなどして校種間連携についても研修を行った。※高校は県費による民間委託研修を実施。

#### ■小中連携の推進（指定校区の指定）

大和高田市立片塩中学校区と平群町立平群中学校区において、持続可能な小中連携のモデルとして域内外に周知するため、連携部会の開催やその内容、校区における英語教育の課題を克服するための方策について研究した。指定した中学校区（研修協力校）に対しては、大学教授や県教育委員会指導主事による研修や指導・助言を行った。

#### ■英語専科教員連絡協議会

英語専科教員としての指導の在り方等について協議し、英語専科教員としての資質向上を図るため、本連絡協議会を年間2回（オンライン1回、参集1回）開催した。うち1回は大学教授を招聘し、指導と評価の一体化をテーマに研修を行った。

### Check

※数値は英語教育実施状況調査（中学校）の結果

- ①求められる英語力を有する教員の割合 35.3% (R1:36.7%)
- ②授業における英語担当教員の英語使用状況 47.2% (R1:57.2%)
- ③求められる英語力を有する生徒の割合 42.1% (R1:42.6%)
- ④「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標の整備状況  
設定82.0% (R1:62.1%) 公表30.0% (R1:13.6%) 把握47.0% (R1:22.3%)
- ⑤パフォーマンステストの実施状況  
スピーキング3.19回 (R1:2.87回) ライティング2.71回 (R1:1.91回)
- ⑥小学校と連携している中学校の割合 73.0% (R1:73.8%)

### Action

#### ■①、②、③、⑤の結果に対する改善策

- ・研修による教員の英語力と指導力の向上（全校種）
- ・小6児童、中1～3生徒を対象とした英検ESG、英検IBAの実施

#### ■④の結果に対する改善策

- ・CAN-DOリストに係る研修の実施（中学校）

#### ■⑥の結果に対する改善策

- ・小中連携を推進するための中学校区（研修協力校）の指定

#### ■英語専科教員連絡協議会の開催

### 成果の普及

- 小中連携の取組について、奈良県教育委員会、大和高田市教育委員会、平群町教育委員会、研修協力校等のWebサイトにおいて掲載。



奈良県教育委員会のWebサイト